

## 消防団 コラム

学園都市として急速な発展をする歴史と  
教育文化の香り高い町「永平寺町」

**ダニエル** 今回オラは、福井県の永平寺町消防団に来て学生さんが活躍している話や消防団の話などなど、盛りだくさんにお話を聞きたいと思います。それでは、はじめに松本町長さんから町の様子についてお聞きしましょう。

**松本町長** 皆さんこんにちわ、はじめに永平寺町の概要をご説明いたします。永平寺町は、福井県嶺北地方のほぼ中央にあり、総面積94.34km<sup>2</sup>で、福井平野を流れる県下最大の河川、九頭竜川には、鮎や「憧れの魚」サクラマス釣りの釣り場として知られており、アラレガコが生息するこの中流域は、国の天然記念物に指定されています。この九頭竜川の中流域の流れに沿って開けた町で人口は約2万人です。また、古刹曹洞宗大本山永平寺は鎌倉時代道元禪師が、町内の吉峰寺に続いて開いた修行道場として、その伽藍を今に残しています。近年当町では福井大学医学部、福井県立大学など学術研究機関の教育施設が町西部に立地され、学園都市として急速な発展をするなど、歴史と教育文化の香り高い町を形成しています。平成18年2月13日には、同じような歴史文化をもつ旧松岡町、旧永平寺町、旧上志比村の2町1村が合併し新「永平寺町」として生まれ変わりました。消防団も

新たに名称を「永平寺町消防団」として再出発、現在に至っています。

**ダニエル** なるほど、10年以上も前だと思うんですけど、学生時代に京都に暮らしていた時があり、その時にお世話になっていた天台宗のお寺さんが案内をしてくれた覚えがあります。何か宗派が違って関係があるのかなあ。

**山本団長** 曹洞宗ですけど、もともと天台宗とは、縁があるんです。元々の曹洞宗を作られた道元さんというお方が、天台宗の比叡山の方から最初にここに入られたこともありましてねえ。

**ダニエル** 曹洞宗の最初の所に関連しているのかなあ。というか、曹洞宗は中国からですよ。

**山本団長** そうです、そうです。最初に道元さんが中国の天童寺というお寺で禅を修行して帰ってきたのです。ダニエルさんよくご存知ですね。

**ダニエル** 昔、歴史の本で読んだことがあるっていうか。

**山本団長** そうなんです。

**ダニエル** ところで、人口2万人位の町で消防団員さんは、今は何人なんですか？

**山本団長** 今はですね。消防団員は、295名

です。

**ダニエル** 295名。約300弱ですね。結構多いんですね。

**山本団長** 295名の消防団員のうち、機能別消防団員という大学生や専門学校に通っている若い人たちの活躍があり、今年は結構たくさん増えて今は48名おります。

**ダニエル** へえ、じゃあ平均年齢が下がって活気がありますね。

**鈴木副団長** そうです。高齢化が進むなか、学生さん達が入ってきたので、今までは、平均年齢39歳でしたが、機能別消防団員は、平均21歳なので全体的にさがり、色々な面で良い刺激になっています。

**ダニエル** 機能別消防団員の話はあとで聞くとして、まず、山本団長さんが消防団に入団したきっかけをお聞きしたいのですが、それは、何だったんでしょうか？

**山本団長** たぶん、皆さんも同じことだったと思うんですけども、我々、消防団員が近くに沢山おるんで、その人らが歳いって辞めるという時に周りにいる若い人に言うてくるんですね。それで、入団のお誘いは、良いんですけども、その翌年に操法大会があるんですよ(笑)。とても入団したばかりで大変なんですよ。大体毎年そういう感じで消防団へのお誘いを言うて来るんです。それで私も入団したというわけです。

**ダニエル** なるほど、町によって入団の勧誘や募集の仕方が色々あるように聞いていますが、順番とか年齢で回って来たんですね。それは、何歳の頃の話だったんですか？

**山本団長** 確か31歳の時だったかなあ。

**ダニエル** 30代ですか。入ってから20年？

**山本団長** ちょうど31年になります。

**ダニエル** 31年、お～、それで団長さんになられて、もしかして一番消防団で長い方なのかなあ？

**山本団長** いやいや、今日同席している服部、鈴木両副団長も一緒ですよ。同じ時に消防団に入っていて、確か昭和56年入団です。

**ダニエル** 服部副団長さんも鈴木副団長さんも、やはり同じように、順番待ちで入団されたのですか？

**服部副団長** 誰かが辞めると、順番に次入るといふか。来れば町の消防団ですからね。

**ダニエル** ある日家に帰ると玄関に消防団の法被が置いてあったとか。は、ないですよ(笑)。永平寺町の消防団員さんはどんな職業の方が多いいんですか？会社員とか？

**鈴木副団長** その昔は、自営業者が多かったですね。今は、町内に残っている人が少ないですよ。

**ダニエル** やっぱり、少しずつ変わってきているんですね。

**鈴木副団長** 昔とは違い段々変わってきましたね。日中の火災出動などは、消防団員も仕事をしていることから、今はすぐに常備の消防が出動します。ただ、夜間とか、休みの日とかであれば、我々消防団も出られるんですけども。平日の昼間などの火災出動の中心は、やはり常備と地元に残っている少ない消防団員達となります。

**ダニエル** そうですね。山形もそうなんですよ。町によって農家が多いところや、自営業者が多かったりなんだけど、やっぱりサラリーマンが最近では段々増えてきたなあ。

**服部副団長** うちの消防団もサラリーマンもかなり多いですよ。たぶん、みんなどこも同じなんですよ。悩みはそこですよ。

**ダニエル** なるほど、ところで31年間消防団をやっているわけなんですけれども、その中で、一番印象に残るイベントというか、英語でイベントというとハプニングってということなんですけれども、印象に残るものってありますか？

**山本団長** 私が感じたのはですね、全国大会ですかね。操法大会で、全国大会に出場させて頂いたことです。



**ダニエル** 全国大会ですか。

**山本団長** はい、全国大会です。いつもは、横浜であるんですけどもその年は兵庫県で開催したんです。消防の技術を競う大会ですよ。福井県の大会がありまして、そこで優勝すると、全国大会に出られるんですよ。なかなか出られないんですよ。18年に全国大会に初めて出場しまして、合併してからなんです。ポンプ車の部と小型ポンプの部があって、ポンプ車の部の方で優勝しました。

**ダニエル** なるほど、それはおめでとうございました。

**鈴木副団長** 平成18年10月って書いてありますね。2町1村3町村で合併したんですけれど

ども、その年に皆んなで行けて、ひとつの和というか、勢いがつきました。

**ダニエル** 合併されて、間もない時ですよ。

**服部副団長** そうです、その年ですよ。それは、合併したての一心同体で大会に望んだのですからすごいものです。

**ダニエル** それで、みなさん一心同体の気持ちになり、現在があるんですね。

**服部副団長** 3つの消防団があったんですけど、初めて統合になってから、直後に、それだったんですよ。

**ダニエル** それで、えかったんですね。

**服部副団長** そうなんです。

**ダニエル** 町の合併とともに消防団も合併すると、色々難しいって聞きますけどねえ。町長さんや団長さん副団長さん達の人柄や統制が良かったのと団員さん皆が協力して「和」をつくったからでしょうよね。素晴らしいことで、めでたい話でしたね。

さっき、ちょっと触れました、機能別消防団員があると、お伺いしましたがけれども、それは、どういう消防団活動をしている団員さんですか？

**山本団長** これは、元々全国的にあったんですね。「機能別消防団」というのが。同じ身分の消防団員なんですけどね。たまたま、この永平寺町には、大学が二校あるんです。

**ダニエル** 町に大学がふたつあるんですか。

**山本団長** はい、県立大学と国立の医大とあって、その中で、学生さんを入れることができなかなあという発想だったのです。

**ダニエル** なるほど、なるほど。それは、医学関係？

**服部副団長** 国立福井大学の医学部と看護学

部の方達です。

**ダニエル** へえ、学生の町なんですねえ。

**服部副団長** 学園の町でもあるんですよ。国立福井大学が約1,000人、県立福井大学の学生さんが約1,000人ぐらいいるんですよ。これが、その写真です。



**ダニエル** なるほど、なるほど。お若いんですね、皆さん。

**服部副団長** この方たちは、医学部の学生さんや、看護課の学生さんなんですね。

**ダニエル** あれ。女性の方が多いんですね。

**服部副団長** そうですね。看護学部の方が多いですからね。

**ダニエル** みなさん、赤いユニフォームが、普通の消防団の方とは色が違っていいですね。

**鈴木副団長** 主に、救急救命の関係の活動をしています。

**ダニエル** 学校でもそういう勉強を色々してるわけですね。

**鈴木副団長** 実践的な勉強にもなりますから。

**ダニエル** ほお～。なるほど、なるほど。私も親父がカリフォルニアで消防署員だったので子供の頃やったことありますよ。何度も消防署に行って親父に教えてもらいました。この機能別消防団として、結成して、歴史は長いんですか？

**鈴木副団長** 平成21年の1月に結成ですから、3年前に最初6名からスタートしました。大学の先生達で医療チームを作っていて、永平寺町の防災訓練なんかで、参加していただき色々協力していただいていたんですけども、そこで機能別消防団の話をして、消防団に参加をお願いしました。先生方のご賛同と今日ここにおられる松本町長や、永平寺町の理解やら、そういう全体の協力のなかで、この機能別消防団員は発足しました。現在は48名おります。

**ダニエル** 結構人気あるんじゃないですか。

**鈴木副団長** 自分たちの、仕事というか勉強にもなりますからね。

**ダニエル** そうですよ。みなさん、学校で医学を勉強して、なんのために医学を勉強しているかっていうと、万が一の時に人を救うためだからねえ。実践訓練もできて町にも貢献できて良いことですね。

**山本団長** 訓練なんかにも出動していただいて、救急関係で応急処置を主にやっています。

**ダニエル** 機能別？機能別消防団って、ちょっと、難しそうな名前だけ。

**山本団長** ですから、大学生の方々には、ちょっと別な名前にしてまして、「大学生防災サポーター」という名称にしています。勿論正式な消防団員ですが学生さん向けにね。

**ダニエル** そうすると、皆さん大学卒業したら、「大学生防災サポーター」を辞めなければならぬのですか？

**山本団長** 辞められます。

**ダニエル** 辞めて、自分の地元に戻ったり、就職して各地に行かれると思うんですけども。

**山本団長** そうです。

**ダニエル** 県内の方が多いんですかね。

**山本団長** いえ、大学は違いますね。7割は県外の方で、3割位が県内です。

**ダニエル** そっかあでも、地元に戻っても、また、消防団に入るかもしれないかな。

**山本団長** 卒業後将来はね。そうあって欲しいですよ。消防団に入って経験を活かして欲しいですよ。

**ダニエル** やっぱり、卒業して直ぐではなくて、最初はそれぞれ職場に着いて忙しいんだよね。新人のお医者さんとか看護師さんとかね、こういう経験をしたことがあるんだから、消防団に入りたくなくなるんじゃないんですかね。

**山本団長** はい、将来消防団入ってもらえれば、それが一番ですね。

**ダニエル** 格好いいユニフォームで、ええことして、勉強にもなります。これはいいですね。学生さんに興味をわかすというか、もたすには、いい機会ですね。なるほど、なるほど。こういう風に訓練して。お互いに勉強になるでしょうね。



**山本団長** そうです。当然なりますね。

**ダニエル** それは、すごいですね。未来は、パラメディック。日本語でなんていうんだっけ救急救命士だっけ、中には、救急救命士になろうという方もいるかもしれないですよ。

**山本団長** 当然、お医者さんや看護師さんになる方が多いので、救急救命の担当にもなる方が出てくると思います。我々も、永平寺町の機能別消防団員は、人数も少ないということで、どうしたら増やせるかなあっと考えたんです。

**ダニエル** なるほど、なるほど。それは、ひとつには、人数を増やすための目的で。せっかく大学がふたつあるからいいチャンスだと。やっぱり、松本町長さんの協力がないと。

**山本団長** それは当然です。もちろん財政的なものもございますから（笑）。

**ダニエル** 全国的に医学関係の学生さんを受け入れてやっているところは他にもあるんですか？

**山本団長** 愛媛県の松山市が早くからやっております、うちは、それを参考にして医学生生の機能別消防団を作りました。あそこは、もう盛んにやっていますよ。福井県ではうちの消防団だけです。

**ダニエル** いいアイデアですよ。オラも大学生の時代に消防団に入りたかった。日本の大学生はどうなんでしょうかね。アメリカの大学生って、結構、勉強で忙しいんで。きちんと勉強しないと、すぐ落第しちゃうんですよ。日本の学生さん達は、あまり勉強しないんでないの？でも医大だから勉強しているよね。大丈夫かなあ。

**山本団長** それは、やってると思います。そうじゃないと、お医者さんになれませんよ。

**ダニエル** そうですよ。大学に入っただけでは、お医者さんには、なれませんよね。色んな勉強して大変なことだ。これは、永平寺町の消防団のPRにもなりますよね。

**山本団長** はい、なりますね。

**ダニエル** もうね、これ見ただけで、若々しいしフレッシュでいいね～。入りたくなるわなあ。



**ダニエル** そういえば、思い出しましたけど、福井県の消防団PRマスコットキャラが出来て名前を公募したそうですが、何という名前になりましたか？



**朝日参事(消防団事務担当者)** 応募の締め切りは終わったのですが、まだ決まってないんです。うちの方の審査員から機能別消防団の学生さんに、500ほどの名称の中から若い子の感性で選んでもらうということで依頼は受けています。これから、機能別の消防団員さんにお問い合わせするところなんです。

**ダニエル** ヘルメットが甲羅みたいで、福井の名物の一つ越前ガニですよ。良い名前が着くといいよなあ。

**朝日参事(消防団事務担当者)** 名前の決定は10月の中旬になります。

**ダニエル** じゃあ、この話が広報消防基金に載り全国に配られるまでに、間に合わないか。町長さんが勝手に決めるわけにはいかないんだよね？残念だなあ。

最後に、松本町長さんに永平寺町消防団の自慢と、山本団長さんに部下の団員さんたちに何か一言あれば、お聞かせください。

**松本町長** 永平寺町の消防団は、福井県下で9消防本部ある中で一番小さな町なんですけど、消防技術では一番高い消防団だと思います。

**ダニエル** 一番小さい町が一番ですか？

**松本町長** 例えば消防操法ですとか、色々な技術の大会があり、ほとんどが、うちはトップなのです。小さい消防団ですけども技術職の高い人の集まりで活躍しているところです。

**ダニエル** 人数は少ないけれども、熱心やって、技術の高い消防団員さん達なんですね。

**松本町長** また、医学部の学生さん達が、男性も女性も自分の将来は医者になったり、看護師になったりするなかで、消防団員に入っていて、3年でも4年でも、一緒に活動す

ることにより非常にレベルが高くなる感じがします。他の消防団員達も学生から吸収するところがあります。よそにはない仕組みだと思います。最後に、永平寺町は小さい町ですけども、地区が90あり、合併して、その中で全ての地区に自主防災組織があり、消防の人が色々指導していただいています。そういう町は、どこにもないと私は思います。一般住宅用火災報知機にしても、日本の市町村1700位ありますが、このなかで設置率が上位に入っていて15番位に入っているんですよ。永平寺町では一般家庭で約94パーセントの設置率です。全国の統計をみたら75%ぐらいでした。そういうわけで消防防災、防火にかけては意識や技術が高い町です。

**ダニエル** そうでしたかあ、昔からそう意識が高かったのですか？昔、大きな火災とかあったのですか？

**松本町長** 結構、昔は、あったみたいです。今は少なくなりました。昔は、織物、繊維の町でしたから、繊維工場が沢山あり、建物や敷地も広く大きかった時代は、火災が発生すると大火となることから防災などの意識はあったと思います。

**ダニエル** 山形だと、酒田大火っていうのがありましたが、そういう歴史をもつ市町村は、防火防災の意識は高いんですね。

**松本町長** それから、消防以外で良いところは、教育のレベルが高いことです。学力が高いです。学力は福井県が日本1位2位を争うレベルですが、福井県の中では永平寺町の学校がトップクラスなんです。

**山本団長** 私から団員達へのお願いというか、いつも消防団員に言うんですが、災害出動とか消防団活動に出た時に、絶対に自分の命は、大事にして欲しいということで、ケガとか絶対しないように、お願いしたいのと、消防基金からの安全装備品の助成をいただき一層装備充実ができ、徹底した安全管理をやっていきたい。それが、一番だと思います。

**ダニエル** 今日は、機能別消防団員の学生さん達が夏休みで逢えなかったのは残念だったなあ。でも、松本町長さんをはじめ、山本団長さん、服部副団長さん、鈴木副団長さん、消防団の事務局の朝日参事さん皆さんのお話を聞き、消防団と町全体の協力により、消防防災の技術や意識が高い町作りをしている永平寺町消防団のお話を聞かせていただきありがとうございました。

機能別消防団の学生さん頑張ってください～い。卒業しても永平寺町消防団を忘れずに、また、「大学生防災サポーター」で覚えたことや経験したことを活かし活躍してください。



(後列左から) 消防長 中村勤太郎氏  
副団長 鈴木英明氏  
副団長 服部幸雄氏  
次 長 竹内貞美氏

(前列左から) 町 長 松本文雄氏  
ダニエル・カール氏  
団 長 山本秀明氏